

# 2023年度事業報告書

特定非営利活動法人 文化日独コミュニティー

## 1 事業の成果

3年間の活動休止後、5月より対面活動ができるようになり4年ぶりの総会が開催された。ドイツ語を学ぶ学生へのアプローチをはかり若い世代への承継の準備や、ホームページの英語訳・ドイツ語訳の掲載については、当年も全く進めることができなかった。理由としては若い理事がないこと、理事・会員の高齢化が挙げられる。その中でもいくつかの事業に、会員以外の参加をいただけた事は成果と言えるのではないかと。

### (1) 日独両国に関わる知識の習得と講演会

昨年度に続き、第2回ドイツ児童文学講演会を3月に開催した。

講師は那須田 淳氏（作家・小説家）。ベルリンと東京の2拠点で活躍。大学の非常勤講師。演題は『エンデの「モモ」とケストナーの「飛ぶ教室」ドイツ児童文学におけるテーマについて』勤務先の学生・卒業生の参加もあった。

### (2) ドイツ文化・日本文化の紹介を通じた日独交流

①東京横浜独逸学園の学園祭「オクトーバーフェスト」に4年ぶりに参加した。日本文化・折り紙で、兜・紙風船・ハロウィンのコウモリ・カボチャと一緒に折った。

②「ドイツのクリスマス&ドイツ菓子」の実演会を12月に行った。日本に在住のドイツ人を講師に、ケーキとクッキーを作りドイツのクリスマスの様子を聞きながら試食した。

### (3) ドイツ音楽演奏会、展示会等への後援

当会の趣旨に賛同する公演名義付与依頼が数件あり、また新しい会員への名義付与支援もした。

### (4) 懇親行事

①新年会：昨年続き会員のコントラバス・ヴァイオリン奏者と新会員のピアニストとの共演による演奏会と食事・懇親会を開催した。

60名近い参加者があった。今回は独逸学園からの参加はなかった。

②クリスマス会：会員の親睦を兼ね12月に食事会を開催した。

③シュタムティシュ（会員懇談会）：有楽町「カイザーホフ」にて2回実施した。

### (5) ドイツへの体験留学者の派遣

体験留学者募集まで立案できない状況である。

### (6) 広報活動の充実

①JGCCのホームページ充実を図り、広報活動を積極的に行う体制は未だ不十分である。

②英語版のホームページについては、進んでいない。

## (7) 会員基盤の増強

①各事業に取り組む中で新規入会者が4名あった。若い世代の入会は進んでいない。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 748 】千円)

事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 人数	事業費 (千円)
講演会 ドイツ 児童文学	ドイツ児童文学の 名作の背景を知り、 ドイツへの理解を 深める	令和6年 3月16日	品川区立 総合区民会館 きゅりあん	3人	16人	43
オクトーバー フェスト	日本文化紹介 (折り紙教室)	令和5年 10月7日	東京横浜独逸学園	7人	36人	27
体験留学生支援	体験留学生 募集・支援	未活動	—	0	0	0
ドイツ紹介	ドイツの クリスマスの紹介 クリスマス菓子 実演・試食会	令和5年 12月16日	品川区立 総合区民会館 きゅりあん	4人	12人	47
クリスマス会	会員相互の親睦	令和5年 12月13日	新日本製鐵 代々木倶楽部	5人	18人	142
新年会	会員・ドイツ関係者・ 非会員との懇親 コンサート等	令和6年 1月27日	如水会館	6人	58人	489
文化活動支援 (名義付与)	演奏会・美術展 その他文化活動 等の支援	令和5年	コンサート支援 5公演の 後援名義付与	2人	多数	0
シュタム ティッシュ	会員間の交流	令和5年 9月2日 11月11日	カイザーホフ (有楽町)	2人	10人	0
広報活動	ホームページの充実 (英語表記)	事業前 HP掲載	ホームページ	2人	多数	0
日独交流	独日協会ハンブルク とのパートナーシッ プを充実させる	未活動				0